

【様式 2】

③ 諸会議・打ち合わせ・校内研修の見直しについて

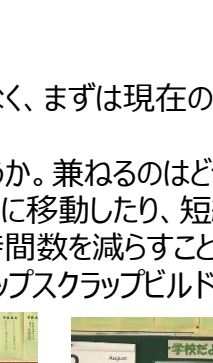
- ・現在のやり方で困っているところ、改善方法の案を出す。

④ 校時制、業務の見直しについて

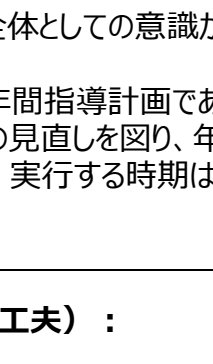
- ・毎日の業務の方法について改善できるところはないか。
- ・地域や PTA に移行できる業務はないか。
- ・部活動の時間は適当であるか。

⑤ 行事の見直しについて

- ・必要だから取り入れるのではなく、まずは現在の立花中学校で行われている活動をなくしてみることを前提に考える。
(行事どうしの組み合わせはどうか。兼ねるのはどうか。いらないのではないか。)
- ・他の行事との関係で別の時期に移動したり、短縮したりすることを考える。
(長期休業中にできないか。時間数を減らすことはできないか。)
- ・スクラップビルドではなく、スクラップスクラップビルドで！



〔代表者の発表〕



〔小グループでの再考〕

⑥ 今後の課題についての確認

- ・完全下校時間 30 分後以降の電話対応について
- ・職員一人あたり年間 15 日以上年休取得ができる計画表の作成
- ・定期考査期間中、及び諸会議の時間の設定について

活動の成果： ※それによって、どんな成果が得られましたか？

- ・働き方改革へ向けての職員全体としての意識が向上し、日常の業務においても順位付けを行い、仕事をする雰囲気が出てきた。
- ・学校教育目標達成のための年間指導計画であることの意識付けになった。
- ・長年続けてきた行事についての見直しを図り、年間計画のスリム化を図ることができた。
- ・来年度へ向けての計画であり、実行する時期は令和 2 年度であり、今後も検討を繰り返していく必要がある。

アピールポイント（アイデアや工夫）：

- ・研修会の中で、校務分掌別のグループと違う分掌が混合したグループで繰り返し協議を行ったことで、より多くの意見が出され、活発な討議が行われた。
- ・現状をスクラップしていくことに抵抗のある経験年数の多い教員とゼロベースから考えることができる若年教員の意見が双方出され互いの意見を聞く場となった。
- ・前年踏襲が暗黙の了解になっている現場で「行事の精選」を通して「働き方改革」に全職員で向き合うことができた。